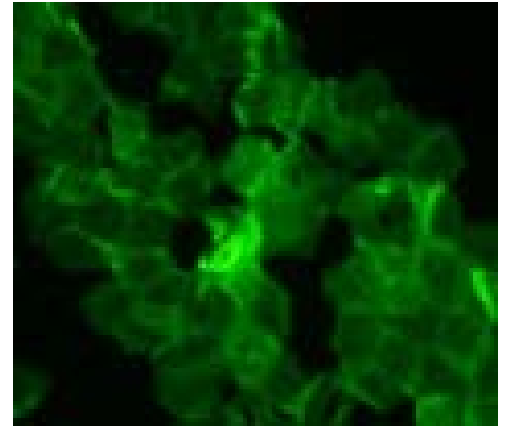


## 太陽と上手につきあう方法を研究しています

太陽光線は私達の皮膚にいろいろな作用を及ぼします。良い作用としては、ビタミンDの合成を促進する作用があります。しかし、作用の多くは皮膚に悪い影響を与えます。つまり、皮膚を乾燥させたり、炎症を起こしたり、シミを作ったり、シワができるのを早めたりします。

そこで、私たちの研究室では皮膚の表面にある角層細胞を採取し、角層細胞の声を聞くことからはじめ、皮膚の培養細胞を用いてその声の原因を突き止め、その原因を取り除くための研究を行なっています。



太陽にあたっている  
皮膚の角層細胞

緑に光る酸化タンパク

## 研究室のポリシー

指導教員 教授 正木 仁(masaki@bs.teu.ac.jp)

研究室は2011年4月からスタートしました。まだ、生まれたばかりの研究室です。研究のポリシーは「THINKING」です。自ら考え、自ら計画し、自ら行動する。さらに結果を自ら考察する。

そのために外部の研究機関、大学、企業との共同研究を積極的に進め、学生と外の世界を結びつけるInterfaceのような研究環境を構築しています。

## 社会に還元できる研究を

皮膚はわずか100~200 $\mu$ mほどの組織ですが、ダイナミックな変化をします。また、環境の変化を直接受ける組織です。人類のQOLの向上をテーマに研究を続けたいと考えています。

「Solution Research」です。